

平成 29 年 2 月 1 日発行 第 11 号

学校教育目標「認めあう」

●志 抱いて 学びあい ●豊かな心で 思いあい ●元気にスポーツ 鍛えあい



二中だより

松伏町立松伏第二中学校たより

〒343-0115

北葛飾郡松伏町上赤岩 711

TEL 992-0051

<http://matsubushi.ed.jp/matu2tyu/>

発行責任者 校長 谷ヶ崎 均

思いきり教育できる環境に

校長 谷ヶ崎 均

2月4日にはいよいよ立春を迎えますが、今年は例年になく厳しい寒さが続いています。関東以外では豪雪となり、各地で大きな被害も出ているようですが、本校1年生のスキー教室は予定通りに実施することができました。実施に際して、保護者の方にたいへんご協力をいただきました。ありがとうございました。

また、厳しい寒さに耐えながら、今、3年生は受験のただ中にいます。すでに私立高校の受験が終わり、進路が決まった生徒もいますが、まだ多くの3年生は3月2日の県立高校の受験に向けて懸命に努力しているところです。幸い、今のところインフルエンザ等の大きな流行はありませんが、願わくは、生徒全員が当日万全の体調で試験に臨み、これまで身につけた力を存分に発揮してもらいたいと祈るばかりです。

さて、先日の会議で、佐藤教育長から田中角栄元首相の言葉を幾つかご紹介頂きました。引用された言葉をもとに「ご要望の一つ一つに自分なりに正面から取り組んで、やれることはしっかりとやって、またできないものは丁寧に説明していきたいと思います。」と年頭の訓示をいただきました。確かに、ご助言やご要望をいただき、難しい判断に迷うことがしばしばありますが、時間がかかっても必ず何らかの返事をし、やれることはしっかりとやって、またできないものは丁寧に説明していかなければならないと思いました。

もう一つ特に心に残ったのは田中元首相の大蔵大臣就任の際の訓示でした。

「私が田中角栄だ。ご承知の通り小学校高等科卒だ。諸君は天下の秀才揃いで、財政のエキスパートだ。しかし、私は素人ながらトゲの多い門松をくぐってきたので、いささか仕事の要領は心得ている。仕事を上手くやるには、互いのことをよく知ることが大切だ。大臣室のドアはいつでも開けておくから、上司の許可は得なくても良いので話に来てくれ。出来ることはやる。出来ないことはやらない。仕事は思いっきりやってもらいたい。全ての責任はこの田中が持つ。以上。」

この言葉に、管理職として学ぶところがたいへん大きいと思いました。何と言っても生徒の教育の中心を担っているのは教職員です。その一人一人が思う存分に仕事ができれば、生徒の学力も向上するはずです。私も松伏第二中学校の職場環境の風通しをよくして、本校教職員が思いきり教育活動に邁進できるように、そして、それによって生徒が大きく成長できるようにしていきたいと思います。

❀ 福祉の心を育む交流事業 ❀

松伏町社会福祉協議会より補助を受け、本校と介護老人保健施設あすか HOUSE との「福祉の心を育む交流事業」が行われました。

1月16日、ボランティアを志願した1学年生徒18名があすか HOUSE を訪れ、車いすのそうじとチューリップの球根の贈呈を行いました。あすか HOUSE から本校生徒のために書籍がプレゼントされ、図書室に置いてあります。



図書室へどうぞ! 改修後の図書室はきれいで魅力満点。ぜひ足を運んでください。



2月の主な行事

1	水	3年定期テスト2週間前 集金袋配付 下校時刻17:30
2	木	集金日
3	金	45分授業 新入生説明会
4	土	
5	日	第3回資源回収(剣道・男バレー・野球・女バス・女子卓球・女バレー)
6	月	あいさつ運動1-3
7	火	3年入室禁止 1、2年放課後入室禁止
8	水	あいさつ運動1-3
9	木	町内小中5校合同支援学級交流会(松伏小)
10	金	スクールカウンセラー勤務日
11	土	建国記念の日
12	日	(第3回資源回収予備日)
13	月	45分授業 あいさつ運動1-3 第4回学校評議員会 松伏中授業研究会
14	火	水曜授業
15	水	3年学年末テスト 1、2年定期テスト2週間前 1、2年町学力調査 あいさつ1-4
16	木	3年学年末テスト
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	県公立高校出願 3年4校時より授業
21	火	県公立高校出願 入室禁止 ふれあいデー
22	水	45分授業 専門委員会 あいさつ運動1-4 PTA新旧地区理事会
23	木	県公立高校志願先変更
24	金	県公立高校志願先変更 45分授業 諸活動停止 ステップアップの日 スクールカウンセラー勤務日
25	土	
26	日	
27	月	あいさつ運動1-4
28	火	1、2年学年末テスト

栄誉の記録

○町内書き初め展

- | | | | | | |
|-----------|-------|-------|------|-------|-----|
| 1年金賞：小林美侑 | 沼口日向子 | 佐々木結那 | 毛塚悠斗 | 益子菜生 | |
| 銀賞：武富藍美 | 飯島想 | 今ひとみ | 白井愛梨 | 横田夢乃 | |
| 銅賞：曾根茉鈴 | 三好美颯 | 伊藤藍 | 滝沢春花 | 中村愛莉 | |
| 2年金賞：佐藤真実 | 三橋優奈 | 北澤透海 | 小林優茉 | | |
| 銀賞：宮川大輝 | 熊谷沙羅 | 舟木舞 | 玉城若菜 | 河井哲杜 | 松林巧 |
| 銅賞：佐藤凜紗 | 茶木菜南 | 坂本海七 | 荒井愛海 | 土屋みなよ | |
| 3年金賞：山本屋典 | 小沼日夏里 | 太田杏樹 | 佐藤夏帆 | 小沼明日美 | |
| 銀賞：小倉大輝 | 福田基紀 | 大野誓愛 | 杉原さき | 榎本美和 | |
| 銅賞：毛塚涼斗 | 八子葉摘 | 肥田野柚 | 山内睦未 | 五味あゆほ | |



❄️ 1学年スキー教室を振り返って



教頭 吉岡清治

1学年は、1月24日から26日までの2泊3日で、群馬県にある水上高原藤原スキー場でスキー教室を行いました。昨年11月9日の学年集会から取り組みをスタートし、実行委員会を組織し、各担当・係で準備をしてきました。

今年のスキー教室のスローガン「**団結・協力・全力！輝け！**二中で一つの結晶（作：1-3 小林美侑さん）」のもと、参加者185名と12名の教員は颯爽と二中を出発しました。

バスは順調に進み、幸手から圏央道に入る。実行委員会制作によるバスレクDVDでクイズを楽しみながら、5台のバスは順調に走る。水上ICで関越道を下り、みなかみ町に入ると町はたくさんの雪に覆われ、降り続く雪の中、生徒達は期待に胸を膨らませる。途中の大穴スキー場でバスはタイヤチェーンを装着し、藤原スキー場に向け大雪の中、バスは走る。

予定より約30分も早く到着。スキー場の天気は雪。しんと降り続く雪の中、いよいよスキー教室の開校式。3日間お世話になるインストラクターの方々とご対面、講習がスタートした。

講習中も雪はやまない。視界不良の中ではあるが、生徒達はめげずに講習に励む。講習に続き、雪上レク大会。降りしきる雪の中のムカデ競走、そりりレー、雪積み競争。寒さなんて何のその。めったに味わうことのできないパウダースノーを存分に楽しむ。

入浴の後は、お待ちかねの夕食。すき焼きや天ぷら等、ごちそうに舌鼓を打つ。





楽しい自由時間の後は、班長・室長等の係別会議。班長会では講習中の班員に対する思いやりのある声かけが次々と聞こえてくる。

2日目。教員が集まる前に生徒達は集まり、誰ひとりしゃべらず、予定より5分以上早い「いただきます」。あまりの集まりの良さ、静けさ、けじめに驚く学年教員。

午前も午後も雪、雪、雪。スキー三昧。昼食はおかわり自由の牛井。昼食中、生徒から「疲れた」とか「もうやだ」等の消極的な言葉は一切聞こえてこない。着実に上達していく生徒たち。午後の講習後は自由滑走。要所要所に立つインストラクターに見守られながら、思い思いのシュプールを描く。リフトには二中生の行列が続く。

2日目の講習がすべて終了し、入浴と並行しておみやげ購入タイム。計算を間違え3000円を超えてしまった人はレジで足止め。数学科の寺嶋先生が嘆く…。

夕食、自由時間、各会議と前夜同様のメニューをこなして就寝。

3日目。朝食をいただき、2泊した部屋の掃除・片付け。各係から責任感ある言葉かけが響く。

いよいよ最後の講習。天気は快晴。「2日間、下からは見えなかった山の頂上は、こんなにもきれいだったとは。あんな上から滑ってきたんだ」という感動の声が聞こえる。しっかりと準備体操、ブーツと板のチェックも入念に。

講習修了、閉校式。スキー学校の校長先生より修了書をいただく。まぶしいばかりの好天の中でのお別れ



の儀式。

昼食のカレーライスをいただく。おかわりに長蛇の列。ホテルの方に「これだけ食べる学校はなかなかない」といわれた昨年よりすごい長蛇の列。

往路とはうって変わってまぶしいばかりの好天の中、松伏に向けバスは出発。渋滞一つなしで二中に到着。

輝く笑顔で自宅へと帰っていく生徒たち。この3日間の団結・協力・全力の結晶を忘れずに、今後の学校生活での活躍を期待する。

この3日間で感じた1年生のよいところ

- ① 明るく素直である。 ② 楽しみながらもけじめがある。
- ③ リーダーが育っている。リーダーが多い。
- ④ 協力者が多く、思いやりがある。
- ⑤ 落ち着いている。 ⑥ 時間を守れる。
- ⑦ すべき仕事を責任をもって取り組むことができる。

この3日間をとおして、生徒同士の絆が深まっただけでなく、生徒と教員の絆も深まりました。生徒たちには自信をもって、今後の生活を送ってほしいと思います。